

## MISA 平成 29 年度新入社員研修（募集のご案内）

1. 主催・実施：一般社団法人宮城県情報サービス産業協会

2. 目的：【ビジネス系コース】※業界・職種問わず参加できます！

社会人として必要な基本動作から各種ビジネススキルやコミュニケーション力等の習得を通じ、新入社員の総合的な実務基礎力の養成と社会人意識の定着を図る。

【IT 技術系コース】

選りすぐりの講師陣によりシステムエンジニアに必携の基盤技術を系統的に習得し、新入社員の IT 実践技術の養成と技術思考スキル、人間力の本質的向上を図る。

3. 開催日程と受講料：

コース名	日程	受講料(税込)
<b>&lt;ビジネス系&gt; ※業界・職種問わず参加できます！</b>		
(1)ビジネス基盤養成コース	4/4(火)～4/13(木) (8日間)	MISA 会員：86,400円 非会員：108,000円
(1)-特 ビジネスマナー&コミュニケーション	4/4(火)～4/6(木) (3日間)	MISA 会員：38,880円 非会員：48,600円
<b>&lt;IT 技術系&gt;</b>		
(2)システム開発技術コース	4/14(金)～5/12(金) (18日間)	MISA 会員：194,400円 非会員：216,000円
(3)オブジェクト指向開発コース	5/15(月)～6/7(水) (18日間)	MISA 会員：194,400円 非会員：216,000円

※申込は上記の各コース単位で、MISA 会員/非会員問わず先着順に受け付けます。  
募集締切までに受講者が確定しない等の諸事情については MISA 事務局までご相談ください。

### 「キャリア形成促進助成金」など助成金活用をご検討ください！

- ※ (1) (2) (3) のコースは、宮城県の認定職業訓練です。
- ※ 活用にあたっては、**各社で事前に直接、各都道府県の労働局へ照会・ご相談**をお願いします。

◆ キャリア形成促進助成金について（厚生労働省 Web ページ）

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html)

4. 予定定員：ビジネス系(1)および(1)-特：30名×1クラス  
技術系(2), (3)：各20名×2クラス

5. 研修時間：各コース共 9:30～17:30

6. 会場：NAViS((株)仙台ソフトウェアセンター)研修室 仙台市宮城野区榴岡 5-12-55

7. 対象：平成 29 年度採用の新入社員 **※MISA 会員・非会員は問いません。**

8. 申込方法：別紙申込書にて MISA 事務局までお申込ください。 **※第1次締切:1月27日(金)**  
(定員に空きがある場合、2次募集を行う場合があります。)

9. お問い合わせ先：MISA 事務局 TEL:022-217-3023 e-mail:misa@misa.or.jp

#### [添付別紙]

- 別紙1: MISA 新入社員研修の基本体系
- 別紙2: MISA 新入社員研修・カリキュラム
- 別紙3: 申込にあたっての留意事項
- 別紙4: 新入社員研修申込書
- 別紙5: フォローアップ研修内容【参考】

## MISA新入社員研修の基本体系

### <育成人材像> MISA 企業の中核となり、将来を担うシステムエンジニアの育成

#### ① コミュニケーション

コミュニケーション力を発揮しながら、課題解決へ向けた具体的な行動の取れる人材  
(2Way、プレゼン、論理思考、情報活用)

#### ② システム化思考力(業務応用力)

システムの構想から開発までのプロセスを理解し、顧客目線も交えてシステム化思考できる人材  
(SE業務プロセスの実体験、品質、納期など)

#### ③ 技術の本質的理解

プログラムの動作原理(ロジック)を理解しシステム開発において応用できる人材  
(アルゴリズム、DB、Webアプリケーション)

#### ④ 自発性・意欲

自らの仕事の意味をしっかりと理解し、自発的に勉強し、考え、活躍しようとする人材  
(自学の習慣づけ、技術を自ら追求する癖)

### <研修のコース体系>

#### ◆ビジネス基盤養成コース(8日間)

- ・社会人としての意識、基本動作、マナー
- ・ビジネスコミュニケーション、自己表現力
- ・情報セキュリティ基礎
- ・論理思考、文書作成、プレゼンテーション など



#### ◆システム開発技術コース(18日間)

##### アプリケーション開発に必要なIT基礎知識と開発実装力を養う(Java系)

- ・Javaプログラミング、データベース構成、SQL等の理解と、それらを活かした業務アプリケーション開発実装力(Java)を養成する。
- ・開発演習(個人単位)では実装・テスト工程の理解に重点をおき、同時に品質意識や責任感、納期意識なども身につける。



#### ◆オブジェクト指向開発コース(18日間)

##### オブジェクト指向型の設計・開発技術(JSP、サーブレット、MVC、UML等)

- ・要件定義、設計から実装、テストまでの一連の工程を学習・分析設計の手法・考え方の理解と実装力育成に重点をおく。
- ・品質、納期への意識、計画性、技術探究心なども育む。

- ・チーム演習にて主体性やコミュニケーション、チームワーク力、またユーザー目線で考える力も同時に育む
- ・IT企業他社新人との交流・刺激の享受、社外の人的ネットワークの形成



各社独自仕様に基づく社内研修、OJTを経て即戦力技術者へ



#### ◆新入社員フォローアップ研修(8月、2日間)

- ・ビジネスマナーの振り返りと応用コミュニケーション力
- ・ビジネススキルと仕事意識の再構築、行動目標の策定

平成 29 年度 MISA 新入社員研修 カリキュラム

ビジネス基盤養成コース（8 日間） 4/4（火）～4/13（木） 各日 9：30～17：30

**コースの目的・狙い：**

社会人としての基本動作を習得すると共に、MISA 訓練ならではの特色であるビジネスの実践の場で要求される各種ビジネススキルやコミュニケーション力等の実務基礎スキルを育成します。

**対象・前提条件：**

平成 29 年度の新入社員（※業界や職種を問わず参加いただける内容です。）

**育成・到達目標：**

1. ビジネスマナーの基本動作ができる。(挨拶、言葉遣い、接客・電話応対、身だしなみ、名刺交換等)
2. 組織で働く上での基本動作ができる。  
(ビジネス文書作成、報連相、効率性/正確性、PDCA、情報セキュリティ等)
3. 協調性・柔軟性を持った組織内・外コミュニケーションが実践できる。  
(チームワーク形成、ミーティング、職場の人間関係形成、接遇等)
4. 主体性・積極性を持った応用コミュニケーションが実践できる。  
(論理思考、プレゼンテーション、積極的傾聴等)
5. ビジネスコミュニケーション力を駆使し、実際の現場で即戦力となるビジネス活動ができる。

**カリキュラム：**

科目・日程	概 要	講 師
<b>開校式</b> 4/4（火）9：10～ 開校挨拶、及びオリエンテーション		
<b>ビジネスマナー&amp;コミュニケーション</b> (3 日間) 4/4（火）～4/6（木）	<b>ビジネスマナー、コミュニケーション基礎</b> ・社会人としてのマナー、ビジネスの場で必要な各種コミュニケーションについて学習。 ・必須の各種マナーをはじめ、指示の受け方、報告の仕方、言葉遣い、接客・電話応対、接遇など現場で必須となる基本行動・コミュニケーション力について、社会人としての意識や人間関係・信頼関係の構築も交えて学習。 ・ロールプレイング等を中心とした内容により、着実な定着と職場での実践につなげる。	キャリアトーク (仙台市) 志伯 暁子
(3 日間コースをご受講の方には、4/6（木）の講義終了後に修了証をお渡しします)		
<b>情報セキュリティ基礎</b> (1 日間) 4/7（金）	<b>情報セキュリティ基礎</b> ・一般的な業務に潜む情報セキュリティ上のリスク（情報の保管、記憶媒体の管理、e-mail の利用など）を想定し、その対策について学習。	マネジメントテクノロジーズ, LLC (東京都) 尾田 友志

<b>ビジネスコミュニケーション&amp;プレゼンテーション</b> (2日間) 4/10(月)～4/11(火) <b>※プレゼン実習見学会</b> <b>4/11(火)午後を予定</b>	<b>ビジネスコミュニケーション</b> ・仕事の進み方とその中でのコミュニケーションの役割や重要性を学び、必要となる顧客対応力（ヒアリング、e-mail、コンプライアンス、個人情報保護など）に関する応用的なコミュニケーション力を養う。 <b>論理思考、プレゼンテーション</b> ・ロジカルな思考力の鍛錬や相手に説明するためのシナリオ構成の仕方、プレゼンテーションのスキルについて学習。	マネジメントテクノロジーズ, LLC (東京都) 尾田 友志
<b>ヒューマンスキル&amp;ビジネス文書作成</b> (2日間) 4/12(水)～4/13(木)	<b>仕事とチームワーク、ビジネス文書</b> ・仕事への取組意識、対人折衝、チームワークなど社会人必須のヒューマンスキルに関して、グループでの演習を交えながら実践的に学習。 ・社内外で必要となる文書作成の基本から、議事録・報告書の作成など文書作成を幅広く学習。	ホライズンコンサルティンググループ(株) (仙台市) 庄司 和弘
<b>コース修了式</b> 4/13(木)    17:30～    修了挨拶、及び修了証配布		

### 【受講者交流会の開催について】

地域の同世代の交流や刺激の享受、研修後の継続的なネットワークづくりを目的として開催します。

<b>受講者交流会 I</b> (4/5(水)を予定) 18:00～20:00頃	会場：NAVIS 研修室 (飲食費用は当協会が負担します。)
--	-----------------------------------

- ※ 当交流会の受講者参加は任意です。
- ※ 交流会出欠については、コース初日(4/4)に受講者へ直接お聞きします。
- ※ アルコール飲料を出しますので、未成年者の方は参加できません。ご了承ください。

### 【企業関係者の見学について】

研修成果をご確認いただける機会として、以下の通り企業関係者の見学ができる場を設けます。

- ◆ **4/11(火)午後：プレゼンテーション実習**  
**(受講者全員が個人単位でプレゼンを行い、講師の指導を受けます。)**

- ※ 当実習の参観は任意です。
- ※ 時間は午後半日を想定していますが、受講者人数により開始時刻が決定しますので、4/4頃にスケジュールと参観案内を参加企業の皆さまへお知らせします。

**システム開発技術コース（18日間）**  
**4/14（金）～5/12（金） 各日 9：30～17：30**

**コースの目的・狙い：**

アプリケーション開発に不可欠な情報処理の基礎技術と開発実装力を養います。Java によるプログラミング力の育成とデータベース構成や SQL の理解、それらをベースとした業務アプリケーションの開発演習を通じ、開発現場における実務的な留意点や品質意識、納期意識なども同時に学びながら、実装・テストのスキルについて理解を深めます。開発演習は個人単位で行い、参加者個々が着実に開発実装力を高めることを狙いとします。

**対象・前提条件：**

プログラマーやシステム開発技術者に必要な IT 基礎知識や開発実装力の育成をしたい企業（事前のプログラミング経験の有無は問いません。）

**育成・到達目標：**

1. Java の言語仕様、プログラムの基本原理を理解する。
2. 業務系システムの必須技術であるデータベースの基本技術を理解し実装できる。
3. Java による業務アプリケーション開発実装力を有し、実務に円滑に移行できる。
4. 例外処理、バグなど開発現場における必須の留意点を同時に学び、ソフトウェアの品質意識を持つ。
5. アプリケーション開発演習の実践を通じて、責任感や計画力、納期意識を身につける。

**講師：**（株）ダavenport 取締役（仙台市） 乳井 孝浩  
（株）デジタルイノベーション 代表取締役（埼玉県） 井本 貴志

**カリキュラム：**

科目・日程	概要
<b>開校式</b> 4/14（金）9：10～ 開校挨拶、及びオリエンテーション	
<b>システム開発プロセスと開発基礎知識</b> 4/14（金）～4/18（火） （3日間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム開発における必要な工程（要求分析、要件定義、設計、コーディング、テスト、納品）を学習。</li> <li>・開発する上で必要となる基本的な周辺知識（基礎理論やシステム構成、ネットワーク、HTML 等）について理解する。</li> </ul>
<b>RDB と SQL 言語</b> 4/19（水）～4/24（月） （4日間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データベースシステムの概要、SQL 言語を学習。データベースの構造や ER ダイアグラムによる整合性のあるデータベース設計、MySQL の各種ツールの使用、SQL を使ったデータベース操作などを学習し、業務アプリケーション向け開発の基盤を形成。</li> </ul>
<b>オブジェクト指向 Java プログラミング</b> 4/25（火）～5/1（月） （5日間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発言語として Java を題材にプログラミング力を育成する。</li> <li>・Java の特徴やデータ型、基本構文（条件分岐、繰り返し、演算子）、クラスやメソッド、オブジェクト、JDBC によるデータベースアクセス等を学習。</li> <li>・クラスの継承や多態性、カプセル化などオブジェクト指向の概念に触れながら学習。</li> <li>・演習も交えて Java プログラミング基礎力の定着を図る。</li> <li>・IDE（統合開発環境）として Eclipse を使用。</li> </ul>

<b>業務アプリケーション 開発演習</b> 5/2 (火) ~5/12 (金) (6日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Java プログラミング実践力養成として、個人単位によるアプリケーション開発演習を行い、実装力を育成する。</li> <li>• 講師提示の課題（システム要件、基本設計、詳細設計）に基づき、システム実装やテスト工程の演習を通して、業務アプリケーション開発について理解を深める。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>演習課題は5つのユースケースを設定。うち3つの実装を最低到達ラインとする。受講者各々が講師の指導を受けながら目標設定、スケジュール計画・管理を行い、業務アプリケーション開発演習に取り組む。</p> </div>
<b>コース修了式</b> 5/12 (金)    17:30~    修了挨拶、及び修了証配布	

※ 受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。

※ プログラム実習はフレームワークを利用し Windows 上で実施。DB は汎用性の高い MySQL を利用。

#### 【受講者交流会の開催について】

地域の同世代の交流や刺激の享受、研修後の継続的なネットワークづくりを目的として開催します。

<b>受講者交流会Ⅱ</b> (4/18 (火) を予定) 18:00~20:00 頃	会場：NAViS 研修室 (※飲食費用は協会で負担します。)
---	-----------------------------------

※ 当交流会の受講者参加は任意です。

※ 交流会出欠については、コース初日 (4/14) に受講者へ直接お聞きします。

※ アルコール飲料を出しますので、未成年者の方は参加できません。ご了承ください。

#### 【企業関係者の見学について】

※ 最終日プレゼン実習等の企業ご担当者の参観機会は当「システム開発技術コース」では予定がございません。参観の機会については、次コースの「オブジェクト指向開発コース」にて予定しております。



## オブジェクト指向開発コース（18日間）

5/16（月）～6/8（水） 各日 9：30～17：30

### コースの目的・狙い：

オブジェクト指向を用いたシステム開発の設計・実装力を養成します。JSP、Servlet、設計等の要素技術の定着を中心としながら、PBL（Project Based Learning）による Java 系 Web システム開発模擬演習を通して、システムの設計から実装、テストまで一連の開発工程に対する理解を深めます。開発演習では、IT 企業の要望の高いコミュニケーション力やチームワーク、主体性、計画力、実行力、要求の引き出しやお客様目線など、開発現場で要求される人間力も同時に養うことができます。

### 対象・前提条件：

開発工程一連の理解と、設計・実装力の育成を重視する企業  
（前コース「システム開発技術コース」相当のスキルがあることを前提としています。前コース未受講の方でも参加できますが、その場合は Java プログラミング、JDBC、データベース（SQL）について事前に社内教育等で習得していることが参加条件となります。）

### 育成・到達目標：

1. Web アプリケーション開発に必要な実践技術（JSP、サーブレット、MVC モデル等）を理解する。
2. UML による標準的な分析設計の手法・考え方を理解し、研修後に各社の独自手法と相対的に比較しながら現場に必要な分析設計ができる。
3. Java 系の模擬 IT システム開発プロジェクトの実践を通じて、オブジェクト指向によるシステム開発の標準的な手法や流れを理解できる。
4. 例外処理、バグなど開発現場における必須の留意点を同時に学び、ソフトウェアの品質意識を持つ。
5. チームでのプロジェクト推進の実体験を通じて、リーダーシップやコミュニケーション、主体性や計画力、納期を意識した行動を現場で実践できる。

**講師：**（株）ダベンポート 取締役（仙台市） 乳井 孝浩  
（株）デジタルイノベーション 代表取締役（埼玉県） 井本 貴志

### カリキュラム：

科目・日程	概要
<b>オブジェクト指向 分析・設計</b> 5/15（月）～5/18（木） （4日間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム開発の工程を踏まえながら Web アプリケーション開発における留意点を理解する。</li> <li>・システム分析・設計の開発モデルを理解する。</li> <li>・UML による要求のモデリング、ユースケース図等のシステム分析や設計の基本的なパターンを作図演習を交えて学習する。</li> </ul>
<b>サーバサイド Java プログラミング</b> 5/19（金）～5/24（水） （4日間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバサイド技術である JSP/Servlet に関して学習し、Web アプリケーション開発力を支える基盤技術として吸収する。</li> <li>・単純な要素技術ではなく、通信プロトコル、HTML や HTTP といった背景/関連技術の要点を交え、総合的な技術の吸収を狙いとする。</li> <li>・MVC モデル（Controller、View、Model）設計に関して学習し、課題演習のシステム設計へとつなげる。</li> </ul>

<p><b>業務システム設計開発演習</b> 5/25 (木) ~6/6 (火) (9日間)</p> <p>※開発システムの検証・評価は、受講企業の教育担当者等の見学も可能とします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Java系業務システム (Webアプリケーション) の設計・開発総合力を演習主体で学習。</li> <li>・講師提示の課題に基づき、グループにて設計、開発、テストまで業務システム開発の流れを実践。</li> <li>・他社との混合チームとしチームワーク力を発揮するためのコミュニケーションスキルも醸成する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>開発演習では、仮想顧客への模擬ヒアリングを行い、顧客視点やシステム化の目的等を意識しながら、チームごとに要件定義～テストまでの工程を実践。また、設計書やテスト仕様書等、各フェーズで必要とされる文書作成指導も行う。</p> </div> <p>※開発システムの検証・評価 (5/29 (月)) を予定 課題作成プログラム (演習課題) の要件定義と設計、仕様書作成、開発計画等について出来具合等のチェック・指導。 主に「顧客要求を満たしているか」という視点から、受講者同士での相互検証も行う。</p>
<p><b>業務システム設計開発演習・プレゼンテーション</b> 6/7 (水) (1日間)</p> <p>※実習は受講企業の人事・教育担当者等の参観も可能とし成果報告の機会とします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前項に引き続き、開発演習とプレゼンに向けた資料等を作成。</li> <li>・プレゼンテーション実習によるコース総括と最終指導を行う。</li> </ul> <p>&lt;プレゼン内容について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発システムの説明を主目的とはせず、開発プロセス実体験の中での失敗やそれから学ぶ気づきと振り返りを重視。</li> </ul>
<p><b>コース修了式</b> 6/7 (水) 17:30～ 修了挨拶、及び修了証配布</p>	

※ 受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。

※ プログラム実習はフレームワークを利用し Windows 上で実施。DBは汎用性の高いMySQLを利用。

### 【企業関係者の見学について】

研修成果をより確かなものにするために、以下の通り企業関係者の見学、助言の場を設けます。

- ◆ 5/29 (月) 開発システムの検証・評価 (レビュー)
- ◆ 6/7 (水) 業務システム設計開発演習プレゼンテーション

- ※ 当実習の参観は任意です。
- ※ 時間は午後半日を想定していますが、受講者人数により開始時刻が決定しますので、1週間程前にスケジュールと参観案内を参加企業の皆さまへお知らせします。



**平成 29 年度 MISA 新入社員研修 申込に当たっての留意事項**  
**※ 重要・申込の前に必ずお読みください ※**

**【申込にあたっての注意事項】**

**① 申込締切**

申込の第1次締切は平成29年1月27日(金)です。第1次の申込状況により2次募集を行う場合もあります。その場合、第2次締切は2月17日(金)を予定しています。

**② 受講者確定前の申込**

上記の募集締切までに受講者が確定しない場合、受講人数枠での申込みもできます。MISA事務局宛に別途ご相談の上、申込書送付をお願いします。  
(クラス定員がありますので、第1次締切迄の申込を推奨します。)

**③ 受講料の請求と払込**

概ね3月下旬頃に事務局より請求書と受講案内をお送りいたしますので、指定期日までに振込をお願いいたします。請求書発行後のキャンセルは一切できませんので予めご了承ください。

**④ 事前スキル調査**

受講者の属性や技術経験等に関する事前アンケートを3月に実施します。調査の結果は研修運営やグループ分け等の参考にしますので、指定の期日(3月中旬～下旬を予定)までにご提出ください。事情により期日に間に合わない場合はご相談ください。

**⑤ 修了要件について**

本研修の修了要件はコース毎に出席率80%以上となります。

**⑥ 別紙5：「新入社員フォローアップ研修」について**

参加を予定される場合は申込用紙の該当欄に「○」を記入してください(受講義務は発生しません)。本募集の際、定員を超える申込みがあった際に優先的に参加できます。

**⑦ 「スマートフォンアプリ設計・開発の世界」研修について**

例年6月に開催し、当新入社員研修申込時に参加の事前調査を行っておりました「スマートフォンアプリ設計・開発の世界」研修は、現段階で平成29年度の開催予定がありません。ご了承ください。

以 上

## 宮城県情報サービス産業協会 事務局 御中

Fax: 022-217-3055 E-mail: misa@misa.or.jp

「MISA 新入社員研修」申込書

貴社名			
貴社住所	(〒 - )		
申込担当者名		所属・役職	
TEL		E-mail	

参加者欄						
参加者氏名	(フリガナ)	申込コース(○をつけてください)				フォローアップ 研修
		(1)	(1)-特	(2)	(3)	
1						
2						
3						
4						
5						
【アンケート】 助成金の利用を予定している場合は助成金名をお知らせください。		(例: キャリア形成促進助成金「認定実習併用職業訓練コース」)				

## 【募集コース】

コース	日程	コース名
(1)	平成 29 年 4 月 4 日～4 月 13 日	ビジネス基盤養成コース
(1)-特	平成 29 年 4 月 4 日～4 月 6 日	ビジネスマナー&コミュニケーション
(2)	平成 29 年 4 月 14 日～5 月 12 日	システム開発技術コース
(3)	平成 29 年 5 月 15 日～6 月 7 日	オブジェクト指向開発コース

## 【事前調査コース】

コース	日程	コース名
	平成 29 年 8 月 21 日～8 月 22 日	新入社員フォローアップ研修

※「フォローアップ研修」の欄は事前調査を目的としています。新入社員研修の申込時点で受講を予定される場合に「○」をつけていただければ、正式募集時に定員超過となった場合に優先的に参加できます。なお、本調査の回答による受講義務は発生しません。後日(4月下旬頃を予定)正式な募集案内を発行しますので、申込書のご返送後、正式受付といたします。

※研修運営に必要な連絡は原則メールで行いますので、担当者メールアドレスは必ずご記入ください。

※5名以上の申込の際は本用紙を複写してご利用ください。

※受講者の個人情報に関してはMISA事務局での保管となり、MISAの個人情報保護規定に基づき運用いたします。目的外使用は致しません。



[別紙5:参考]

<http://www.misa.or.jp>

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会  
新入社員フォローアップ研修内容

## ◆研修目的：

平成29年度採用の新入社員を対象に、新入社員研修とその後の実務、あるいはOJT／社内教育を踏まえてフォローアップを行い、会社からの期待に応えられる人材になるための主体的な実行力や自己成長力の向上とプロ意識の確立、対人能力やビジネス思考力のアップを図ります。

また、入社から数ヶ月程の期間が過ぎた中で、同世代の異なる企業の受講者間での交流を深め、刺激を享受し、社外人的ネットワークの形成、今後の成長の糧となることも目的としております。

**受講対象者：**平成29年度採用の新入社員

※業種、所属部門等は問いません。

※MISA新入社員研修の受講有無や、MISA会員・非会員は問いません。

(新人研修申込時の事前調査欄に「○」をつけた方は優先的に受け付けます。)

**日 時：**平成29年8月21日(月)～22日(火) (2日間) 9時30分～17時00分

**会 場：**NAVIS((株)仙台ソフトウェアセンター) 研修室

**受 講 料：**MISA 会員:21,600円／非会員:27,000円 (いずれも税、テキスト代込み)

**定 員：**20名

**お 申 込：**4月下旬に一般参加者も対象とした募集案内の通知を行います。

## ◆計画カリキュラム (全て演習中心)：

研 修 名	内 容
<b>1. ビジネスマナー&amp;コミュニケーション応用</b> (志伯講師) 8月21日(月) 9:30～17:00(6.5時間)	<b>ビジネスマナーの振り返りと応用</b> ・挨拶、名刺交換、敬語、立ち振る舞い、言葉づかいや表現の仕方、電話応対など (ロールプレイング中心)  <b>ビジネスの現場でのコミュニケーション</b> ・プロの電話応対、真・報連相、相手に合わせて効果的に伝えるスキル、相手を動かす話のまとめ方、スピーチ術、自己理解・他者理解 など (ロールプレイング中心)
<b>2. ビジネススキル&amp;社会人基礎力</b> (庄司講師) 8月22日(火) 9:30～17:00(6.5時間)	<b>周りからの期待に応えるための必要スキルと社会人基礎力</b> ・実力ビジネスパーソンに期待される能力 ・現状の社会人基礎力の自己検証と評価、今後の行動目標設定 ・主体的キャリア形成と自己能力開発ポイント ・自己管理の手法 など

※研修の進捗や受講予定者の状況等により内容や時間配分等を予告なく変更する場合があります。

※2日目終了後、希望者による交流会を開催予定(別会費制)

<講師> (※4月実施のMISA新人研修「ビジネス基盤養成コース」の講師が担当)

1. 志伯 暁子 氏 (キャリアトーク 代表/仙台市)

2. 庄司 和弘 氏 (ホライズンコンサルティンググループ(株) 代表取締役/仙台市)